

令和8年度

外国学校経験者特別入試

【 人間学群 心理学類 】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「小論文」問題 1 (英語)	<p>1. 「小論文」問題 1 (英語) 出題意図</p> <p>1-1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>問題文は、2025 年に Character &amp; Context Blog に掲載された、Haoran Chris Chu と Sixiao Vivian Liu による「Can AI Tell Good Stories?」の一部を抜粋・改変したものである。本記事では一般対象者向けに学術的見解を紹介している。問題文は、AI が人々を魅了するような物語を書くことができるのかについて、実証的な研究を紹介しながら解説しており、文章の難易度の面からも、外国学校経験者の受験生にとって適切なものになっていると判断し、選定した。</p> <p>問 1 は、三つの研究によって示された結果に関して、問題文の該当する英文の理解と、日本語による表現力を評価することを目的としている。</p> <p>問 2 は、受験者が本記事の内容を正確に理解したうえで、問いの意図を理解し、自分の意見を明確かつ論理的に、適切な日本語でまとめられるかどうかを評価することを目的としている。</p> <p>1-2.</p> <p>問 1 下線部①によって示された結果を、150 字以内で説明しなさい。</p> <p>&lt;解答例&gt;</p> <p>物語の読者は、AI が創作したと伝えられただけで、実際は人間が創作したものであっても、没入度が下がり、物語に懐疑的になった。しかし、AI が創作した物語自体が懐疑的反応を招いたわけではなく、AI にも明確で論理的な物語を作れることが示された。没入度という点では、依然として人間が創作した物語の方が優れていた。(150 字以内)</p> <p>問 2 あなたは、人間が創作した物語と AI が創作した物語のどちらが良いと思うか、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。その際、本文で述べられている AI と人間の違いについて触れなさい。</p>

<p>「小論文」問題 2 (日本語)</p>	<p>(3) 全体的に適切な日本語で表現されていること。</p> <p>2. 「小論文」問題 2 (日本語) 出題意図</p> <p>2-1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>この文章は 2009 年に刊行された島井哲志氏の『ポジティブ心理学入門：幸せを呼ぶ生き方』の第 3 章の「ポジティブ感情の働き」を抜粋、一部改変したものである。本書は網羅的にポジティブ心理学の基本について説明した入門書として、大学で学ぶ専門的・学術的な記述がされている。そのため、心理学類に入学を希望する外国学校経験者の日本語力を問うのに適していると考え、問題文として選定した。</p> <p>問 1 は、感情状態によって、思考や行動のレパトリーがどう異なるのかを検証するための実験手続きと、その結果について説明させる問いである。この問いによって、議論の流れおよび論旨を読み取る日本語の読解力を評価することを目的としている。本文を正しく理解できていれば、本文に記載されている内容から正解を導くことができる。</p> <p>問 2 は、拡張—形成理論におけるポジティブ感情の影響プロセスについて、受験者自身の体験を含めて説明を求めることで、受験生の考えや論理的思考能力を問う問題である。論理的思考の展開力、論述における論旨の明確性、論理性、および論述力を評価することを目的としている。</p> <p>2-2.</p> <p>問 1 下線部①について、どのような課題を用いて、どのような結果になったか 150 字以内で説明しなさい。</p> <p>&lt;解答例&gt;</p> <p>様々な感情を引き起こした後に、「やってみたいこと」を 5 分以内で複数回答することで、思考と行動のレパトリーを測定するという課題を用いた。その結果、思考と行動のレパトリーは、無感情の対照条件と比べて、ポジティブな感情状態では広がっており、ネガティブな感情状態では狭まっていた。(150 字以内)</p> <p>問 2 あなた自身が体験したポジティブ感情の影響について、下線部②の理論に沿って 300 字以内で述べなさい。</p>
------------------------	--